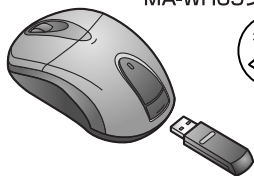


# SANWA ワイヤレスオプティカルマウス取扱説明書

## MA-WH69シリーズ



最初に  
ご確認  
ください

- マウス本体 …… 1台
- 直付けレシーバー …… 1台
- 単三電池(テスト用) 2本
- 取扱説明書 …… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

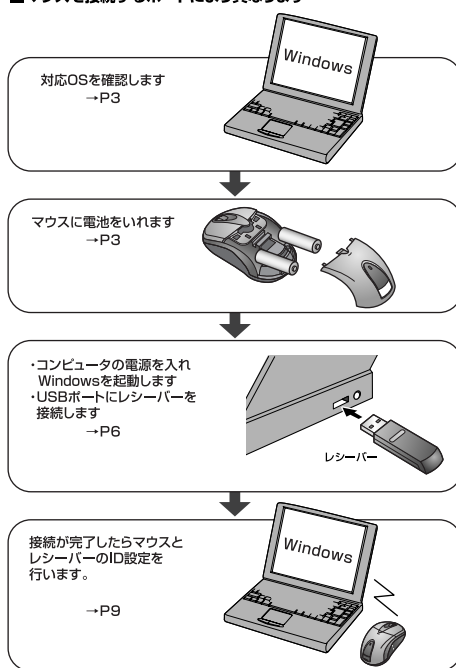
サンワサプライ株式会社

## 目次

- 1 ●ワイレスマウスの接続手順
- 2 ●特長
- 3 ●警告
- テレビ/ラジオの受信障害について ・注 意
- 健康に関する注意
- 対応機種・対応OS
- マウスの準備(電池の入れ方、電源のON/OFF、レシーバーの収納)
- マウスの接続
- 本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)
- レシーバーを接続 ・USBポートによる接続(Mac OS Xの場合)
- IDの設定方法(必ず確認)
- 本製品の使用方法
- 左ボタン・右ボタン ・ホイール(スクロール)
- ホイールボタン(スクロールボタン) ・ズーム
- ご使用上の注意
- Windows Meで本製品をお使いになれる場合
- Windows Me/98SE/98でご利用の場合
- 「故障かな…」と思ったら」

## ワイレスマウスの接続手順

### ■マウスを接続するポートにより異なります



詳細は各ページをご覧ください。

1

## 特長

この度は、ワイレス オプティカルマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、マウス本体にレシーバーを収納できるので、モバイル、携帯に便利です。ボールを使わないオプティカル方式(光学式)で、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に残し、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 警告

■テレビ/ラジオの受信障害について  
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試しください。●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注 意  
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

2

## 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 対応機種・対応OS

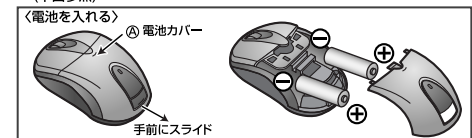
■対応機種  
●Windows搭載パソコン  
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ  
●Apple iMac、iBook、Power Mac G5・G4・G3シリーズ  
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

■対応OS  
●USB接続:Windows Vista・XP・2000・Me・98SE・98及び  
Mac OS X(10.2以降)  
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、Text Edit及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみスクロール可能です。またホイールボタン/押し下げによる動作はサポートしません。

※機種により対応できないものもあります。  
※この文章中に表記されるその他のすべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

## マウスの準備(電池の入れ方、電源のON/OFF、レシーバーの収納)

1. マウスの電池カバー(Ⓐ)を押しながら、手前に引いて取り外してください。マウスに付属の単三電池を2本入れ、電池カバーを取り外したのとは逆の手順で取り付けてください。電池を入れる際、電池の方向には注意してください。(下図参照)



3

## マウスの準備（電池の入れ方、電源のON/OFF、レシーバーの収納）

2.マウス裏面の電源スイッチをONにします。

〈電源をONにする〉

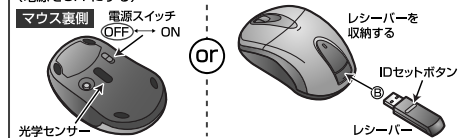


3.マウス裏面の光学センサーが光っている事を確認します。もし光学センサーが光っていない場合は、電池の方向を確認してください。

4.電源をOFFにするにはマウス裏面の電源スイッチをOFFにするか、レシーバーをマウス本体に収納します。

レシーバーを収納するには、マウス後部のレシーバー収納口に、レシーバーを(Ⓑ)の方向にスライドさせて収納します。収納の際、レシーバーのIDセットボタンが上になるようにして収納します。

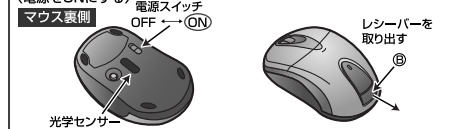
〈電源をOFFにする〉



5.電源をONにするには、電源スイッチをONにした状態で、(Ⓑ)の部分を押してレシーバーを取り出します。

※長時間マウスを使用しない場合やマウスを持ち歩く際などに光学センサーが作動していると、電池が消耗しますので、レシーバーをマウス本体に収納して、電源をOFFにすることをお薦めします。

〈電源をONにする〉



※マウスの電池は、通常の使い方において最大約6週間が目安になっています。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命は短くなります。)電池交換の際は、単三アルカリ電池を2本ご使用ください。

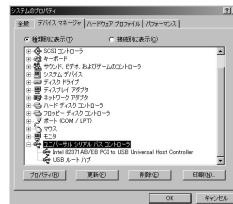
4

## マウスの接続

### ■本製品をUSBポート接続する際の注意（Windowsの場合）

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。

一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

### ■BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合（Windowsの場合）

●BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。

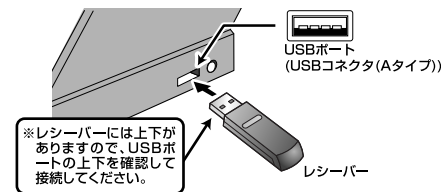
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

5

## マウスの接続（レシーバーの接続）

### ■USBポートによる接続（Windowsの場合）

- ①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウィルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。
- ②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。
- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。



### 〈Windows Vistaの場合〉

- ④タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

### 〈Windows XP・2000・Meの場合〉

- ⑤タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



### 〈Windows 98SE・98の場合〉

- ⑥新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。
- ※Windows 98SE・98では、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード(もしくは他のマウス)が接続されている状態で行ってください。

(裏面へ続く)

6

最新の情報はインターネットで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- ドライバのダウンロード
- よくある質問 (Q&A)
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

※トップページから  
▼「サポート」コーナーへ

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社 Web (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。

## 保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態で使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ①保証書をご提示いただけない場合。
  - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ③故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。
  - ④お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

## サンワサプライ株式会社

2007.04

岡山サプライゼンター 〒700-0825 岡山市田町1-10-1  
 東京サプライゼンター 〒140-8568 東京都品川区南大井6-6-8  
 札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌  
 仙台営業所 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 宝栄仙台ビル  
 名古屋営業所 〒463-0016 名古屋市中村区梧116-7 カジヤビル  
 大阪営業所 〒552-0033 大阪市淀川区4-1-45 新大塚八軒ビル  
 福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル  
 金沢 ☎ 076-222-8384

07/04/TTDeNo

## マウスの接続 (レシーバーの接続のつづき)

### 新しいハードウェアの追加ウィザード



- 新しいドライバを検索しています。USBヒューマンインターフェイスデバイス——次へ>



- 検索方法を選択してください。  
①使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨) ——次へ>



- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。  
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入らずに ——次へ>

- ☑ 検索場所を聞いてきたら、

C:¥WINDOWS¥INF ▼ ※

もしくは、

C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

ドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、☑ CD-ROMドライブ

(C) にチェックを付けてください。

※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、☑ CD-ROMドライブ(C) にチェックを付けてください。

## マウスの接続 (レシーバーの接続のつづき)



- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス ——次へ>



- USBヒューマンインターフェイスデバイス——完了

※接続が完了したら、ID設定方法 (9ページ) へ。

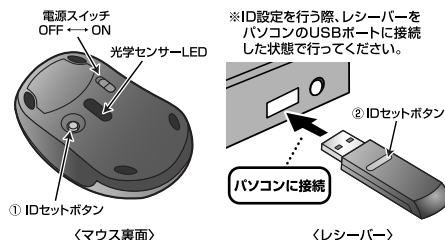
## ■USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)

- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
- ②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
- ③接続が完了したら、ID設定を行います。(9ページへ)

※Mac OS X (10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下による動作はサポートしません。

## IDの設定方法 (ID設定はパソコンにマウスを識別させる作業です)

※重要 (必ずお読みください)  
レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスが使える場合は、ID設定を行う必要はありませんが、マウスが使えない場合は下記の手順でID設定を行ってください。  
マウス側のIDは固定で、変更できません。2台以上のマウスをご使用の際に、ID設定を行っても混信が発生する場合は、距離を空けてご使用ください。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくマウスが動作しなくなった場合は、IDの再設定とともに、電池交換もご検討ください。



注意 ID設定を行う場合は、マウスとレシーバーの距離を10cm以内に近づけて行ってください。

- 1.ID設定をする前にマウスの電源スイッチがONになっているかを確認します。
- 2.指先もしくはペン先を使って① (マウスのIDセットボタン) を押します。
- 3.光学センサーのLEDが点滅します。
- 4.10秒以内に② (レシーバーのIDセットボタン) を1回だけ強く押します。
- 5.ほんの少しの時間でID認証が行われます。マウスを動かしてカーソルが動けばIDの設定は完了です。  
カーソルが動かない場合は1～5までの手順を何度か繰り返しお試しください。その際は、1度マウスの電源スイッチをOFFにし、再度ONにして行ってください。

## ■ 本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



### ■左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

### ■ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

### ■ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

### ■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

## ■ ご使用上の注意

本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

### ■WindowsMeで本製品をお使いになれる場合

「コントロールパネル」→「マウスのプロパティ」→「ポインタオプション」→「詳細設定」の□ポインタの加速度(A)のチェックマーク(☑)を外してください。(Windows2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

### ■WindowsMe/98SE/98でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



## ■ 「故障かな…と思ったら」

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

- 1.マウス裏面の光学センサーが光ってない場合、スリープモードに入っている場合がありますので、右ボタンや左ボタンを押してください。また、電池が正しく挿入されているか確認してください。(10ページ参照)
- 2.レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は9ページ参照)
- 3.光学センサーが光らなくなった場合、電池寿命がもれませんが、電池を交換してみてください。付属の電池(単三電池×2本)はテスト用です。(3ページ参照)
- 4.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.マウスをしばらく操作しない、マウスが全く動かない。

1. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させたい場合は、右ボタンや左ボタンをクリックしてください。

## ■ 「故障かな…と思ったら」(続き)

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。

- 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターン上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
- 2.他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、ID番号の設定をやり直してみてください。
- 3.レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、0.2m~1mの間でご使用ください。
- 4.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
- 5.ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
- 6.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」→で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- 1.ハイカラーモードを選択してください。
- 2.ツール/ハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。